

米軍基地の存在は、

<安保問題学習会第1弾>

日本の安全のためなのか？

それともアメリカの戦争基地なのか？

自衛隊との軍事訓練の実態は…

＝米軍横田基地視察ツアーに参加しよう＝

「米軍機くるな、茨城実行委員会」はこの秋、下記のとおり米軍横田基地視察を計画しました。日本には4万4千人のアメリカ兵が駐留しています。横田基地は陸海空及び海兵隊4軍の司令部があります。また、在日アメリカ空軍の司令部もある所です。

マスコミはアメリカの核の傘で日本の安全が守られていると言っていますが、本当はどうなのでしょう。米軍がいなければ何処かの国から侵略されるのでしょうか。北朝鮮が日本を攻めて来る、などと言う馬鹿げたことを言う軍事専門家はいません。かつてソヴィエトの100万の兵隊が北海道に上陸して来ると悪質な政治家とマスコミが騒ぎ立て最新式の09式戦車を北海道に配備し地雷100万個をつくった。すべて血税です。今でも配備しています。鳩山内閣は税金の無駄遣いを探しているが一番の無駄は人を殺すための兵器と日米共同軍事訓練経費と米軍基地関係費です。

核密約・日米共同軍事訓練の実態・私たちの税金の使われ方・騒音訴訟・基地での米兵の生活など、米軍の現実をこの目で確かめたいと計画しました。現地の方のお世話で基地の実態を視察したいと思います。ぜひ、お誘い合わせご参加ください。

美和・緒川平和の会では独自にマイクロバスを仕立てて参加合流することを検討しはじめています。

各平和委員会は参加者を募って、
できるだけ早く事務局までご連絡下さい

- 11月19日(木) 午前8時30分
石岡市役所駐車場集合・出発
 - マイクロバス2台(25人乗り・2台) 予定
1台は平和委員会関係者
1台は労組・婦人団体など。
 - 参加費：3000円(バス代・資料代・謝礼など。昼食代は別)
 - 主催団体：米軍機くるな、茨城実行委員会
事務局：茨城県平和委員会
TEL・FAX：029-251-2806
 - 締め切り日：第1次は10月末日
第2次は11月10日
 - 日程
1. 8:30 石岡市役所集合・出発
 2. 11:00 横田基地着
 3. 11:00～12:00 現地の会場で
基地の学習受ける。
 4. 12:00～13:00 昼食休憩
 5. 13:00～15:00 基地1周の視察
 6. 15:00～18:00 横田基地から石
岡市役所へ

歓迎!! 新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

- 塚本 武志さん (つくば市)
- 笹目 光行さん (小美玉市)
- 小林 秀行さん (鹿嶋市)
- 石井 一清さん (守谷市)
- 長瀬 佑志さん (水戸市)

会員のみなさんへ、運動を広めるためにも、組織の拡大強化のためにも、財政的にも仲間づくりをお願いします。

摩訶不思議、鳩山内閣の予算づくり

どこの国でも国民の税金をどのように使うかは、一番大切な政治課題である。アメリカのオバマ大統領は来年度の予算で121事業を見直し約1兆7000億円を削減するという。その約半分は国防費である。しかし、いくら国防費を削っても支出が大きく昨年を上回る5兆7000億円になると言う、戦争国家アメリカの姿がある。

鳩山内閣も予算の見直しで大童である。しかし、何故か軍事予算にはメスを入れない。摩訶不思議にもこの点マスコミも同じくいっさい報道しない。日本のマスコミは「大本営発表」に追随した反省はどこへいってしまったのか。民主主義の危機だ。イラクで無辜の人々を殺傷したクラスター爆弾がなぜ日本に必要なのか、イギリスよりも3倍もの1000両以上の戦車がなぜ必要なのか、まだまだ、いくらでも常識的に考えられない無駄がある。日本には軍事費では買えない平和憲法がある。憲法前文と9条をもってして平和外交に徹すれば日本の平和と安全だけでなく世界の平和に貢献できる。その時、何処からか攻められるなどと野暮なこと考える必要はない。日本はそんな「やわ」な平和民主国家ではない。「諸国民の公正と信義に信頼」するだけで充分である。

平和かわら版

No. 546

平和新聞茨城版

2009.10.25

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



百里基地のたたかい世界に発信

韓国文化放送（テレビ局）、ロスアンゼルス・タイムズ、百里を取材

<ことの始まり>

3月はじめに朝日新聞に百里基地の50年にわたる記事が出た。それを見た韓国文化放送（MBC）の日本支局長がこれは韓国でぜひ放映したいと6月末に百里に来て取材、7月8日に韓国のテレビで流された。（韓国でも米軍基地反対のたたかいが激しく起こっている） つぎはそのテレビを見たアメリカのロス・タイムズ社の韓国支局長が「これは特種になる」と、8月20日に通訳と一緒に百里を訪れた。ロス・タイムズ社は日本に支局がないのでわざわざ飛行機できたのだ。1面かさもなければ大きく取り上げたいとの事だった。驚くなかれロス紙はインターネットで世界中に発信しているとの事だ。

さらに、今度は東京新聞が9月に入り2度取材に東京からこられ9月24日に2ページ見開きで1ページの3分の2の大きさで百里闘争50年を載せた。

マスコミの関心は「何で50年以上も国を相手に闘えるのだろうか」と言う事が不思議でたまらないらしい。戦争になれっこのになっているアメリカでは政府に盾をついて基地反対などというのは理解できないらしい。憲法9条の重みを感じないわけにはいかない。

<かくも長きたたかい>

天高く、秋たかなわの戦闘機

天高く、秋たけなわの野良仕事

百里の大空ではパイロットがF15戦闘機に乗り戦闘訓練を毎日繰り返し続けている。百里の大地ではお百姓さんがせつせと野良仕事をしている。戦争を放棄し、戦力不保持の憲法9条を軸に戦争と平和の引っ張り合いを言葉荒げず静かに毎日続けている。時代は移れどこの原風景は50年以上経っても変わらない。

<ぶれない心は憲法9条があるから>

「おれ達、戦争体験したものは戦争は大嫌いなんだよ。2度としちゃいけないんだ。戦争のために土地なんか売れっこねーだろう。そんな事、誰だってわかりきったことじゃあねーか」「憲法に戦争しちゃあ、いけねーってちゃんと書いてあつべよ。おれたちやそれを守っているだけだ」

「憲法を守っているから、政府だって勝手なこと事が出来ない

んだ。憲法もわれわれのたたかいを守ってくれているんだよ」
「憲法に戦争賛美って書いてあつか。軍隊もっても書いて書いてあつか。ウソつきは泥棒のはじまりって言うけど、国家のウソは戦争のはじまりなんだよ。ウソの常識がマスコミに氾濫しているからよけい危険だよ。どんな事があっても戦争は絶対いけないんだと言う心は「ぶれて」はいけないのだ」「政治家は平気で”ぶれる”けど、平和を願う一般国民は”ぶれて”はいけないんだよ」こんな会話のやりとりで「百里の不思議」が理解出来たらしい。「伊達さん、百里農民のたたかい、大変すばらしいです。ベリーグッド」（伊達）

各平和委員会（平和の会）みなさんへのお願い

下記の枠組みの意見広告賛同のお願いは、各平和委員会に送付させていただいたものと同じものです。領収書がついていないだけです。また、各平和委員会の賛同目標については昨年の実績を勘案して出させてもらいました。多忙とは存知ですが実現のためご努力をお願い申し上げます。

<新聞意見広告掲載賛同のお願い>

憲法9条を活かす道は核兵器廃絶と戦争のない世界です

核兵器のない世界を子供たちの世に！

—核兵器廃絶は世界のねがい・被爆国民として世界に訴えよう—

世界は核兵器廃絶に向けて大きな一歩を踏み出しました。

オバマ・アメリカ大統領は、今年4月、日本に原爆を投下したのは過ちであった、同義的責任を感じると、プラハで演説しました。9月には、国連で核兵器廃絶を世界各国に提案しました。歴代のアメリカ大統領で核軍縮を言っても、核兵器廃絶を宣言した大統領はいません。ましてや原爆投下の過ちを表明した大統領はいません。被爆国としてまた平和憲法を持つ国民として大歓迎です。**ひとつには、唯一の軍事・政治・経済大国のアメリカが核兵器廃絶を決意すれば反対する国はありません。**これまでアメリカは世界の世論に背を向けて「核兵器先制攻撃」の脅しを戦略にしてきました。天と地のちがいです。世界は核兵器廃絶の入り口に立ったのです。**もうひとつは、ヨーロッパで、アジアで、南米で「戦争と貧困をなくし平和で豊かな生活を」**求めて時代の流れを大きくしています。戦争を放棄した、平和憲法を持つ国民と日本政府の役割が世界の人々から求められています。憲法9条が世界に広がり始めました。私たちもさらに頑張ります。この事が本当の国際貢献の道です。

私たちは広くこの事を県民にアピールするために、下記の要領で新聞意見広告を出す事にいたしました。ひとりでも多くの方が、ひとつでも多くの団体にご賛同していただけるようお願い申し上げます。

記

1. 12月8日付、朝日新聞朝刊に掲載します。但し賛同者・団体の名前は紙面の都合で掲載できません。後日、意見広告と賛同者名・団体名の入ったものを印刷してお届けします。
2. 内容は憲法を活かす立場から核兵器廃絶を中心に検討します。
3. 賛同費：個人1人・1口 1000円。 団体賛同1口 3000円。
4. 第1次締め切り日：11月30日。最終締め切り：12月7日とします。
5. 申し込み先：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281

TEL / FAX : 029-251-2806 へお願いいたします。